

公益社団法人日本母性衛生学会令和7年度定時社員総会 議事録

日時：2025年6月21日（土） 14時03分～14時46分

場所：イオンコンパス東京八重洲会議室（Room D）

〒104-0031 東京都中央区京橋 1-1-6 越前屋ビル 4階

I 開会（中島義之副幹事長）

代議員の議決権行使書提出により総代議員の過半数の出席があり定款に基づき本会は適法に成立する旨が告げられ開会。また、会場ならびにWEB併用会議としており、記録のための録画、録音を行うことを了承頂いた。また、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできる仕組みとなっていることを確認した。

II 理事長挨拶（正岡直樹理事長）

代議員の方々の学会運営に対するご協力に感謝する旨述べられた。

当学会の発展に尽力された平原史樹名誉会員がご逝去されたことを報告し、ご冥福をお祈りし、黙祷を捧げた。

以下、定款に基づき正岡直樹理事長が議長となり進行。

III 議事録署名人について（正岡直樹理事長）

金子政時常務理事、米山万里枝常務理事を議事録署名人に推薦され承認された。

IV 報告

1 令和7年度事業計画書について（金子政時常務理事）

資料に基づき説明された。

2 令和7年度収支予算書について（児玉由紀常務理事）

資料に基づき説明された。

V 議事

第1号議案：令和6年度事業報告案・事業報告の附属明細案に関する件

（森 恵美副理事長）

資料に基づき説明された。

（議決権総数62のうち、議決権行使書賛成数53により承認）

第2号議案：令和6年度計算書類案に関する件（児玉由紀常務理事）

資料に基づき説明された。

監査報告（伊藤博之監事）

資料に基づき監査結果について説明された。

監査報告後、第1号議案と第2号事案を議場に諮り承認された。

（議決権総数62のうち、議決権行使書賛成数53により承認）

第3号議案：任期満了につき役員改選に関する件（正岡直樹理事長）

資料に基づき、理事候補者各人の賛否を議場に諮り、下記の21名が承認された。

（議決権総数62のうち、議決権行使書賛成数53により承認）

島田（安藤）紀子、小川久貴子、金子政時、亀井良政、*坂上明子、
島袋香子、関博之、玉木（高橋）眞理、*橘 大介、中塚幹也、
西口富三、*西島浩二、福島明宗、毎田佳子、正岡直樹、*三嶋廣繁
宮坂尚幸、森 恵美、山田新尚、*吉田美香子、米山万里枝
*新任理事

第4号議案：第68回日本母性衛生学会学術集会会長候補者に関する件

（正岡直樹理事長）

宮坂尚幸氏（東京科学大学 周産・女性診療科 教授）を第68回日本母性衛生学会学術集会会長とすることについて議場に諮り承認された。

（議決権行使書賛成53名により承認）

VI 第66回日本母性衛生学会学術集会会長挨拶（小川久貴子学術集会会長）

令和7年10月10日（金）、10月11日（土）京王プラザホテル（東京都新宿区）で開催する。

メインテーマは“母性衛生が拓く母子の笑顔”で、準備進捗状況について説明があった。

一般演題には457件の応募があり、現在査読依頼中である。また、一般演題は演題数が多いため、発表5分、質疑応答2分とする旨の報告があった。

現時点での事前参加登録者は384名、懇親会への参加申し込み数は15名、ハンズオンセミナーは満席、企業展示への応募数は30件、ランチョンセミナーは5本確保できているとの報告があった。

懇親会は10月10日（金）京王プラザホテル4階第3会場 扇で18:30-20:00、会費8,000円と案内された。

VII 第67回日本母性衛生学会学術集会会長挨拶（越山雅文次期学術集会会長）

令和8年10月9日（金）、10月10日（土）大津市民会館ならびに琵琶湖ホテル（滋賀県大津市）

で開催を予定している。“琵琶湖からみんなへ届け、生涯健康”をテーマにシンポジウムなどを計画していることが述べられた。

また、懇親会は琵琶湖のナイトディナークルーズを予定している旨の説明があった。

VIII 第68回日本母性衛生学会学術集会会長挨拶（宮坂尚幸次々期学術集会会長）

宮坂尚幸東京科学大学教授より次々期学術集会会長就任にあたり、挨拶があった。

今年度、次年度の学術集会で勉強しつつ、保健衛生学研究科リプロダクティブヘルス看護学
松崎教授、東京母性衛生学会などの協力を得ながら準備していきたいと述べられた。

IX 閉会（中島義之副幹事長）

以上をもって14時46分に終了した。